

## 小児神経炎症性疾患の縦断的観察研究

### 1. 観察研究について

九州大学病院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善に努めています。患者さんの生活習慣や検査結果、疾病への治療の効果などの情報を集め、これを詳しく調べて医療の改善につながる新たな知見を発見する研究を「観察研究」といいます。その一つとして、九州大学病院小児科では、これまで神経系の炎症性疾患を発症し、入院したお子様を対象として、病気の原因と効果的な治療法に関する「観察研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局観察研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2027年3月31日までです。

### 2. 研究の目的や意義について

はじめに：小児期の神経炎症性疾患には、様々な臨床病型が知られ、診断名として急性脳炎、後天性脱髄症候群、けいれん重積型脳症、急性弛緩性脊髄炎などが挙げられます。本疾患のいずれかが疑われる場合、発症時の病歴および検査情報に基づき、診断と治療を迅速かつ適切に開始する必要があります。本研究の参加施設は、福岡市とその近郊地域の高次医療施設として、長く神経炎症性疾患の診療を担ってきました。今後の診療の品質向上のために、両施設における最近20年間の診療記録を振り返り、各疾患の臨床的特徴を抽出することを計画しています。

目的：本研究の目的は、小児神経炎症性疾患のいずれかと診断された患児の初診時の診断名、臨床経過および神経学的後遺症の有無を明らかにすることです。本研究を通して、より正確な診断と効果的な治療法を確立することを目指しています。

### 3. 研究の対象者について

九州大学病院小児科と福岡市内の共同研究施設（福岡市立こども病院小児神経科および福岡歯科大学小児科）において、2002年1月1日から2022年6月30日までに下記診断名(a1-a3)のいずれかに該当する300名を対象にします。

#### a1. 中枢神経系疾患

- a1.1 小児急性脳炎（ウイルス性脳炎および自己免疫性脳炎を含む）
- a1.2 小児後天性中枢神経系脱髄症候群（急性散在性脳脊髄炎、多発性硬化症、視神経脊髄炎）
- a1.3 特発性視神経炎、横断性脊髄炎、MOG抗体関連疾患）
- a1.4 亜急性硬化性全脳炎
- a1.5 けいれん重積型脳症
- a1.6 出血性ショックおよび脳症症候群
- a1.7 川崎病その他・発熱性疾患に伴う急性脳症
- a1.8 代謝性脳症・薬剤関連脳症
- a1.9 移植片対宿主病関連脳症
- a1.10 中枢神経ループス
- a1.11 腫瘍随伴症候群

a1.12 急性弛緩性脊髄炎

a2. 末梢神経障害

a2.1 ギラン・バレー症候群

a2.2 慢性炎症性多発神経炎

a3. 神経筋接合部疾患

a3.1 重症筋無力症

a3.2 乳児ボツリヌス症

研究の対象者となることを希望されない方、または研究対象者（お子様）のご家族等の代理人の方は、事務局までご連絡ください。

#### 4. 研究の方法について

この研究を行う際は、カルテより以下の情報を取得します。病歴、検査および画像データを用いて、発症リスクおよび神経学的な予後と関連する因子を解析します。

[取得する情報]

b1 発症時年齢（月単位）、性別

b2 周産期・発達歴、家族歴、既往・合併症、現病歴

b3 入院時および退院時の神経学的所見

b4 入院時血液・尿・髄液検査、脳波、神経伝導速度、各種誘発電位、MRI・CT検査

b5 治療内容（初診時と観察期間中）

b6 退院後の観察期間

b7 発症1-20年後の生存および神経障害レベル

b8 観察期間中の再発の有無および再発回数

#### 5. 個人情報の取扱いについて

お子様のカルテ情報をこの研究に使用する際には、研究対象者のお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。研究対象者と研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。

また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、研究対象者が特定できる情報を使用することはありません。

この研究によって取得した情報は、九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野・教授・大賀正一の責任の下、厳重な管理を行います。ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。尚、お子様のカルテ情報を共同研究施設へ郵送する際には、九州大学にて上記の処理をした後に行いますので、研究対象者を特定できる情報が外部に送られることはありません。

## 6. 試料や情報の保管等について

この研究において得られた研究対象者のカルテの情報等は原則としてこの研究のために使用し、研究終了後は、九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野において同分野教授・大賀正一の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られたお子様の情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。そこで、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただきたいと考えています。その研究を行う場合には、改めてその研究計画を倫理審査委員会において審査し、承認された後に行います。

## 7. 利益相反について

九州大学では、よりよい医療を社会に提供するために積極的に臨床研究を推進しています。そのための資金は公的資金以外に、企業や財団からの寄付や契約でまかなわれることもあります。医学研究の発展のために企業等との連携は必要不可欠なものとなっており、国や大学も健全な産学連携を推奨しています。

一方で、産学連携を進めた場合、患者さんの利益と研究者や企業等の利益が相反（利益相反）しているのではないかという疑問が生じる事があります。そのような問題に対して九州大学では「九州大学利益相反マネジメント要項」及び「医系地区部局における臨床研究に係る利益相反マネジメント要項」を定めています。本研究はこれらの要項に基づいて実施されます。

本研究に関する必要な経費は日本学術振興会(JSPS)・科学研究費補助金であり、研究遂行にあたって特別な利益相反状態にはありません。

利益相反についてもっと詳しくお知りになりたい方は、下記の窓口へお問い合わせください。

利益相反マネジメント委員会

(窓口：九州大学病院 ARO 次世代医療センター 電話：092-642-5082)

## 8. 研究に関する情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

## 9. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所	九州大学病院小児科 九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野
研究責任者	九州大学大学院医学研究院成長発達医学分野 准教授 酒井康成
研究分担者	九州大学病院小児科 助教 チョンピンフィー 九州大学病院小児科 助教 一宮優子 九州大学環境発達医学研究センター 学術研究員 園田有里 九州大学大学院医学系学府 大学院生 平良遼志 九州大学大学院医学系学府 大学院生 藤井史彦

共同研究機関等	機関名 / 研究責任者の職・氏名	役割
	① 福岡市立こども病院小児神経科・科長・吉良龍太郎 ② 福岡歯科大学小児科学分野・教授・鳥巢浩幸	情報の収集・解析
業務委託先	企業名等：なし 所在地：なし	

## 10. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 担当者：九州大学病院 小児科 助教 チョンピンフィー  
(相談窓口) 連絡先：〔TEL〕 092-642-5421  
〔FAX〕 092-642-5435  
メールアドレス：chong.pin.fee.434@m.kyushu-u.ac.jp